

新型コロナウイルス感染症クラスター（38事例目）について （第2報）

三重県内で発生した38事例目のクラスターについて報告します。

1 県内38事例目のクラスターの概要

令和3年1月、志摩市内のカラオケ喫茶で発生したクラスターで、三重県内では38事例目のクラスターとなります。

スタッフ及び利用客から陽性者が複数判明していることから、店内で感染が広がった可能性が考えられます。

2 調査状況

カラオケ喫茶の利用客（2186例目）の陽性が1月30日に確認され、その接触者調査を進め、検査を行ってきました。

このクラスターでは、飲食店のスタッフ2名（2226、2227例目）と利用客9名（2186、2207、2209～2212、2219、2205、2271例目）の陽性者が確認されています。

現在の検査状況は下表のとおりです。

カテゴリー	検査対象者	検査済数		
		検査済数	陽性数	陰性数
スタッフ	2	2	2	0
利用客	9	9	9	0
合計	11	11	11	0

※上記は人数であり、検査を行い陽性となった際は陽性数に計上しています。

※検査対象者については、現在特定している人数を計上しています。

【参考】クラスター対象外の接触者調査状況

カテゴリー	検査済数	陽性	陰性
家族関係等	6	5	1

接触者については保健所が調査を進め、随時検査を実施するとともに、健康観察を行っていきます。

※報道機関の皆様へ

本患者様およびその他ご関係者様の人権の尊重および個人情報保護、勤務先等の風評被害防止について、ご理解とご配慮をお願いいたします。